

病害虫発生予察情報

東京都病害虫防除所

向こう1ヶ月(6月)の予報

〒190-0013 立川市富士見町 3-8-1

Tel 042-525-8236 Fax 042-529-0943

平成28年度 予報第2号

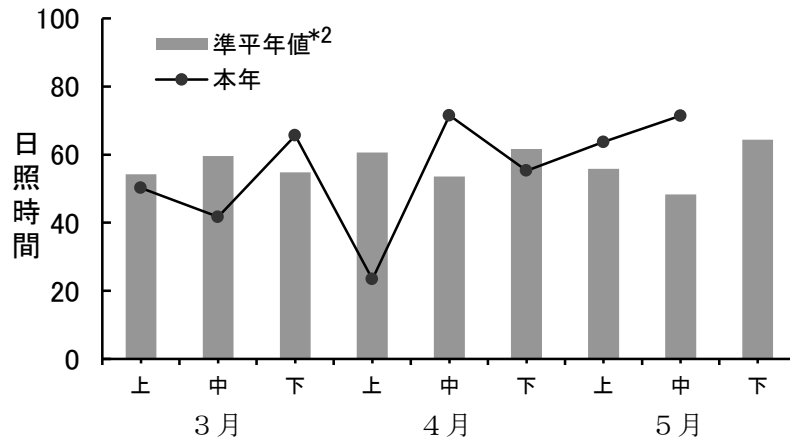
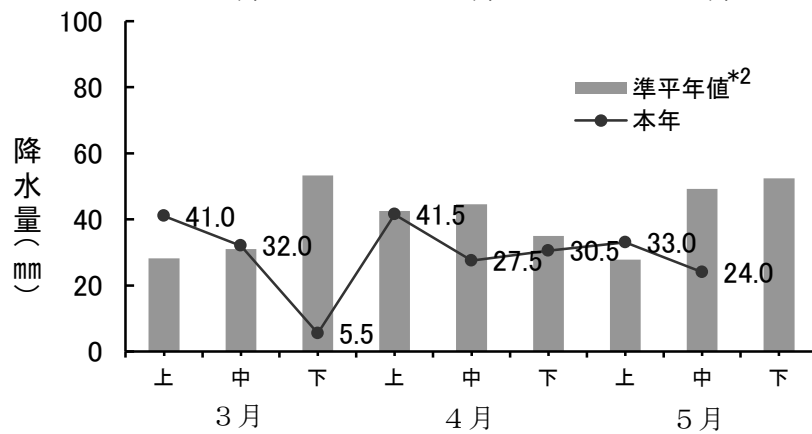
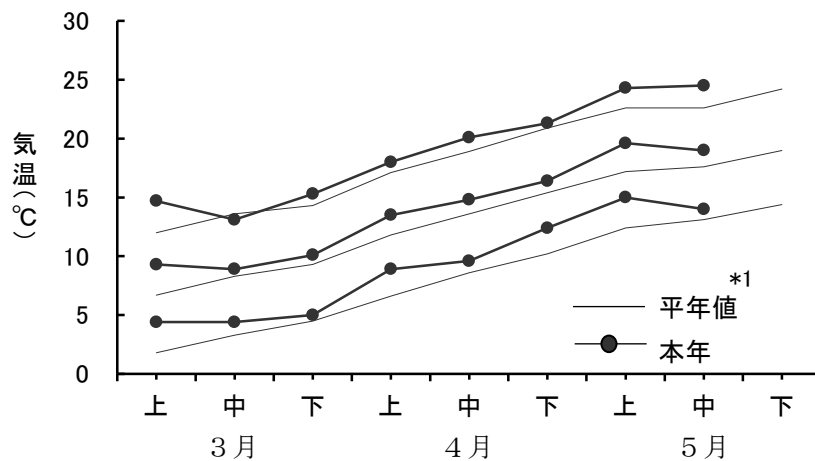
<http://www.jppn.ne.jp/tokyo>

e-mail: S0200303@section.metro.tokyo.jp

【気象予報】平成28年5月26日 気象庁 地球環境・海洋部発表, 関東甲信地方の1か月予報より

確率	要素	低い(少ない)	平年並	高い(多い)
	気温	20	40	40
	降水量	20	40	40
	日照時間	30	40	30

【気温・降水量・日照時間の経過】 平年値及び準平年値と本年の5月中旬までのデータを示した。(東京都府中市 気象庁気象観測所データ)



*1: 1981-2010の平均値, *2: 1987-2010の平均値

6月から8月は農薬危害防止運動を推進しています！

この期間は病害虫等の発生が多くなるため、農薬を使用する機会が多くなります。散布前には必ずラベルを確認するなどして、適正使用を徹底し、農薬による危害を未然に防止しましょう。

- ★ 住宅地や公共施設周辺での農薬散布には十分な配慮をしましょう！
- ★ 近隣に影響の少ない天候や時間帯に散布するほか、飛散しにくい農薬や散布ノズルを使用し、飛散防止に努めましょう！
- ★ 農薬保管庫には必ず鍵をかけて盗難を防止しましょう！
- ★ 必ず防除記録をつけましょう！

【病害虫発生予報】（各根拠に記した（ ）内記号は発生助長要因の強度を示す）

I. 果樹の病害虫

1. ナシの黒星病

予報内容

発生量 並

予報の根拠

- 1) 巡回調査では各地とも発生はやや少ない。(－)
- 2) 気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量は平年並～多いと予想される。(＋)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い防除する。

2. ナシのアブラムシ類

予報内容

発生量 やや多

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、被害新梢率は 21.7%と発生はやや多い。(＋)
- 2) 気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量は平年並～多いと予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い防除する。

3. カキクダアザミウマ

予報内容

発生量 少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では寄生葉率は 0%と少ない。(－)
- 2) 今年の発生は少であった。(－)
- 3) 気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量は平年並～多いと予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 通常、越冬成虫が 5 月上旬頃の新葉展開期に越冬場所からカキ園に飛来し、新葉に寄生後、発生した次世代幼虫が幼果とへたの間に侵入し加害するため、新葉飛来後、葉が巻く前（産卵前）に防除する。
- 2) 防除指針に従い薬剤を散布する。

4. 果樹共通 果樹カメムシ類 (チャバネアオカメムシ, クサギカメムシ)

予報内容

発生量 並

予報の根拠

- 1) フェロモントラップの誘殺数は5月第5半旬は1トラップ当たり16.0個体であり、平年の29.2個体よりやや少ない。(－)
- 2) 予察灯への誘殺数は、チャバネアオカメムシ、クサギカメムシともに平年並である。(±)
- 3) サクラへの飛来調査では、両種ともに目撃数はやや多い。(＋)
- 4) 気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量は平年並～多いと予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 園内を見て回り早期に飛来状況を把握する。
- 2) 早期の袋がけや多目的防災網(目合9mmクロス入り)を園全体に展張し、果実への加害を予防する。

II. 茶樹の病害虫

1. ハマキムシ類

予報内容

発生量 チャノホソガ: 多
 チャノコカクモンハマキ: やや少
 チャハマキ: やや少

予報の根拠

- 1) フェロモントラップ調査によると、チャノホソガの誘殺数は多、チャノコカクモンハマキは並、チャハマキは平年並である。(＋)
- 2) 平年は、チャノホソガは上旬～中旬に増加期に向かう。(＋)
- 3) 気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量は平年並～多いと予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い防除する。

2. カンザワハダニ

予報内容

発生量 並

予報の根拠

- 1) 巡回調査では寄生葉率は5.0%でやや少ない。(－)
- 2) 気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量は平年並～多いと予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い防除する。

III. 野菜の病害虫

1. トマト灰色かび病 (施設・半促成)

予報内容

発生量 並

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、各地とも果実の発病は平年並である。(±)
- 2) 気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量は平年並～多いと予想される。(＋)

防除上考慮すべき事項

- 1) 施設内の過湿に注意し、病果、病葉はただちに処分する。
- 2) 防除指針に従い防除する。

2. トマト葉かび病（施設・半促成）

予報内容

発生量 並

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、一部地域を除き発生はやや少ない。(－)
- 2) 気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量は平年並～多いと予想される。(＋)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い防除する。

3. キュウリうどんこ病

予報内容

発生量 並

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、一部地域を除き発生は平年並である。(±)
- 2) 気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量は平年並～多いと予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い防除する。

4. キュウリ褐斑病

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、施設栽培で発生はやや少ない。(－)
- 2) 気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量は平年並～多いと予想される。(＋)
- 3) 栽培後期に多発する傾向がある。(＋)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い防除する。

5. キュウリべと病

予報内容

発生量 並

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、一部地域を除き発生は平年並である。(±)
- 2) 気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量は平年並～多いと予想される。(＋)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い防除する。

6. カブ・コマツナの白さび病（露地）

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、各地とも発生は少ない。(－)
- 2) 気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量は平年並～多いと予想される。(＋)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い早めに防除する。

7. ネギさび病

予報内容

発生量 並

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、各地とも発生はやや少ない。(－)
 - 2) 気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量は平年並～多いと予想される。(＋)
- 防除上考慮すべき事項
- 1) 発生を認めたら防除指針に従い早めに防除する。

8. ネギアブラムシ

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、寄生株率は0%と少ない。(－)
 - 2) 気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量は平年並～多いと予想される。(±)
- 防除上考慮すべき事項
- 1) 防除指針に従い薬剤を散布する。
 - 2) ネギ類は薬剤が付着しにくいいため展着剤の加用など考慮する。

9. ネギアザミウマ

予報内容

発生量 やや多

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、ネギにおける被害程度は14.6と平年並である。(±)
 - 2) 今後、増加期が継続する。(＋)
 - 3) 気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量は平年並～多いと予想される。(±)
- 防除上考慮すべき事項
- 1) 防除指針に従い薬剤を散布する。

10. コナガ

予報内容

発生量 並

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、キャベツにおける10株当たり幼虫・蛹数は2.3頭とやや少ない。(－)
 - 2) フェロモントラップへの誘殺数は少ないが、圃場での成虫の飛来数はやや多い。(±)
 - 3) 気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量は平年並～多いと予想される。(±)
- 防除上考慮すべき事項
- 1) 薬剤抵抗性の出現に注意して、系統の異なる薬剤をローテーション散布する。
 - 2) コマツナ・カブなどでは被覆栽培を行い、成虫の侵入を防ぐ。

11. ヨトウガ

予報内容

発生量 並

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、キャベツにおける卵・幼虫寄生株率は0%と少ない。(－)
 - 2) フェロモントラップへの誘殺数はやや多い。(＋)
 - 3) 気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量は平年並～多いと予想される。(±)
- 防除上考慮すべき事項
- 1) 防除指針に従い薬剤を散布する。

12. コナジラミ類（施設）

予報内容

発生量 並

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、半促成トマトにおけるコナジラミ類の寄生葉率は3.6%とやや少ない。(－)
- 2) 今後、増加期が継続する。(＋)
- 3) 気象予報によれば気温は平年並～高いと予想される。(＋)

防除上考慮すべき事項

- 1) 施設周辺の雑草防除を徹底する。
- 2) 開口部に防虫ネット等を張って外からの成虫の侵入を防ぐ。
- 3) 今後は黄化葉巻病を媒介するタバココナジラミ類の発生に注意する必要がある。

13. 露地野菜類のアブラムシ類

予報内容

発生量 並

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、キャベツでの発生はやや少ない。(－)
- 2) 今後、増加期が継続する。(＋)
- 3) 気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量は平年並～多いと予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 発生を見たら作目ごと、防除指針に従い薬剤を散布する。

14. ニジュウヤホシテントウ類 (テントウムシダマシ)

予報内容

発生量 並

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、ジャガイモにおける発生は7.3%とやや少ない。(－)
- 2) 今後、増加期にあたる。(＋)
- 3) 気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量は平年並～多いと予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い薬剤を散布する。

☆ 東京都病害虫防除指針：最新版をご覧ください ☆
☆ 防除指針オンライン版は平成28年版を公開中です ☆
(防除指針正誤表などの最新の情報をホームページ等でご確認下さい)

インターネット上の防除所ホームページ
<http://www.jppn.ne.jp/tokyo>

病害虫の発生予報、発生状況、防除方法
などをお知らせしています。

☆ 4月28日：クワシロカイガラムシ第1世代の防除適期
について発表しています。